

INTERVIEW TIME

おいしいさとは、
生命力の強さ。

齋藤 西郷地区では、昔からメロン栽培が盛んなんですか？

佐藤 正確な時期はわかりませんが、祖父の代ではそこまで大規模にはつくっていません。本格化したのは地下水を汲み上げて畑にまく設備が普及してからだだと思います。それ以前は、あまり水をやらなくても育つ作物をメインにしている方が多かったみたいですね。

渋谷 畑が土ではなく、砂浜みたいサラサラで驚きました。

佐藤 この辺りは海に近いこともあり、畑のほとんどが砂地です。砂は保水力が低いので、土に比べて多量の水や肥料が必要というデメリットがあります。一方でそれは水はけ



がいいということでもあって。メロンは生育過程で水がたくさん必要な時期とそうでない時期がはっきり分かれています。砂地での栽培に向いているんです。土の畑だと水分を抜き切ることが難しく、メロンが地中から勝手に吸い上げてしまうので与える水分量のコントロールが難しいですね。

菅原 あえて水を減らす時期があるということですか？

佐藤 そうです。生命力が強い作物の方がおいしいという考えが基本にあって、メロンに限らず、作物自体の力を引き出すことを第一に栽培しています。例えば、水分を欲して一生懸命根っこを伸ばそうとしているのに、人が水を与えてしまったら、伸びようと頑張る力に身につきませんよね。適度なストレスを与え、それを乗り越えさせることで作物を強くしていくということです。

Supported by
庄内広域行政組合、山形県庄内総合支庁

庄内の食の魅力を
若者が発見！

庄内 オイシズム

Shonai Oishism 14



鶴岡中央高校3年 菅原 優華さん
 鶴岡中央高校3年 齋藤 菜月美さん
 鶴岡中央高校1年 渋谷 実愛さん
 ワッツ・ワッツ・ファーム代表 佐藤 公一さん

メロン栽培が盛んな鶴岡市西郷地区で、3代にわたり農業を営むワッツ・ワッツ・ファーム。代表の佐藤公一さんに、庄内砂丘メロンのおいしさの秘密や栽培におけるこだわり、地域との関わり合いについて伺いました。

農業の大変さと面白さ、体感してみたい！
 いろんな人が、地元の魅力を聞いてみたい！
 佐藤さんの温かい人柄が、メロンをおいしくする！
 地域のおいしさ、たくさん感じてほしい！

ワッツ・ワッツ・ファーム × 鶴岡中央高校

いいものをつくり、地域の「おいしい」を喜び合う。

渋谷 農業のどんなところにおもしろさを感じていますか？

佐藤 決まったやり方がなく、すべてをゼロから自分で考えて工夫できるところですかね。もちろん一つ一つの作業は大変だし、私も30歳で継ぐ決心をするまではあまり前向きではなかったんですが、自分が一生懸命つくったものでお客さんが「おいしい」って笑顔になってくれるのは本当に嬉しいことだし、頑張ろうって思いますよね。

齋藤 他の農家さんと交流する機会がありますか？

佐藤 地区内でメロンつくってる人たちは、仲間でありライバルでありつつも、感じでお互い意識し合っているんですが、実はこの関係性が個々の栽培技術の研鑽^{けんさん}を後押ししています。結果的に庄内砂丘メロンの品質向上に大きく貢献していると感じています。
菅原 自然に生まれた人とのつながりが、地域の産業の力になっているんですね。

佐藤 細かい仕事の仕方やこだわりは違っても、大きな意味ではみんな同じところを目指しているのかもしれないですね。2021年から、地域

の料理人・漁師・農家の有志団体「サステイナ鶴岡」の一員として、子ども向けに食漁農の体験イベントやワークショップを行っています。これもやっぱり同じで。普段はそれぞれのフィールドで働いている人たちも、「地域の食の豊かさを子どもたちに伝えたい」という思いのもとに集まって、気がついたら100人規模ですからね。

渋谷 今後の目標を教えてください。
佐藤 農家として、よりよいものをつくることを基本に、仲間とともに農業のおもしろさ、地域の食の豊かさを、1人でも多くの人に伝えていきたいですね。

募集中

一緒に取材を行ってくれる高校生・調理師専門学校生を募集中です。詳細は、Cradle事務局のメールにお問い合わせください。
info@cradle-ds.jp

取材・編集・文|庄内オアシズ編集部、工藤拓也
写真・イラスト|間真由美
協力|ワッツ・ワッツ・ファーム、鶴岡中央高校

お知らせ



「食の都庄内」サポーター募集中!

山形県庄内地域「食の都庄内」をクチコミ・SNSなどいろんな場面で広げて応援してください!

申込みはコチラ



「食の都庄内」ブランド戦略会議



ワッツ・ワッツ・ファームのみなさん
ありがとうございました



お話を伺った場所
ワッツ・ワッツ・ファーム
住/鶴岡市茨新田字千馬合50
電/0235-76-3142

おいしいのは、砂地でタフに育つから。



庄内砂丘メロン

全国有数のメロン生産量を誇る山形県。主要な産地は、西郷地区など庄内沿岸部の砂丘地。水はけのよさに加え、地下水が豊富で昼夜の寒暖差が大きいことも、メロンのおいしさアップに一役買っている。

1シーズン20,000玉もつくるんですか？

